令和８年度
第１回春日井市道風記念館運営協議会

と　き　　令和８年９月２日（水）
午後２時00分から

ところ　　春日井市道風記念館

議題１　令和７年度事業報告

１　道風記念館運営協議会

月　　日	会　　場	内　　容
９月 18 日（木）	道風記念館	○協議事項　⑴ 令和６年度事業報告について ⑵ 令和８年度事業計画について ⑶ 令和９年度特別展について
３月 17 日（火）	道風記念館	○協議事項　⑴ 会長選出 ⑵ 会長職務代理者指名 ⑶ 令和８年度事業計画について ⑷ 次回の特別展について

２　展　示

⑴　館蔵品展

名　　称	内　　容	展 示 期 間	観 覧 者 数
常設展示	・小野道風の業績などの解説パネル ・小野道風を中心に平安時代の書の複製・木版本など	通　年	人 ７，４７２
小さきものはみな愛し―懐紙・短冊・扇面・小品―	館蔵品のうち、懐紙、短冊、扇面、小品といった様々な形の小さな作品を展示した。	２月 21 日（金） ～４月 20 日（日）	※１ ６９２
一回性の美学	館蔵品のうち、筆の動きを読み取りやすい行書・草書の作品や、淡墨で書かれた作品を中心に展示した。	４月 23 日（水） ～７月 13 日（日）	７７７
書の魅力	館蔵品のうち、近現代書作品を展示し、さまざまな書の魅力を解説した。	11 月 29 日（土） ～２月 15 日（日）	３，１７８
その地を想って筆をとる	館蔵品のうち、その土地に関連した内容が書かれた書や、旅をすること、移動することについて書かれた書、故郷を想う書を展示した。	２月 19 日（木） ～４月 19 日（日）	※２ ３６９

※１は４月１日以降の観覧者数

※２は３月 31 日までの観覧者数

⑵　企画展・特別展

名　　称	内　　容	展 示 期 間	観 覧 者 数
企画展 「おののとうふう ～小野一族のひみつ～」	小野道風の一族、小野氏について小学生にもわかりやすく解説した。また、理解を助けるため、ワークシートを作成した。 期間中に小学生向けのワークショップを開催した。	７月 18 日（金） ～８月 31 日（日）	人 ７２６

企画展 「藤田蒼碩の書」	春日井市出身の書家、藤田蒼碩の書の優品を選りすぐって展示した。	10月25日(土) ～11月24日(月)	１，２５５
特別展 「刻された古代日本の書」	伊藤滋氏が所蔵する拓本を中心に古代日本の金石文を紹介した。 講演会（９/28） 「日本金石文拓本から見る書法と真偽」 講師　伊藤滋	９月５日（金） ～10月19日(日)	４７５

⑶　その他の展示

名　　称	内　　容	展示期間	観覧者数
第 90 回県下児童生徒席上揮毫大会作品展	令和７年度に開催された大会の全参加作品を展示した。	12月24日（水） ～１月７日（水）	人 １，３７８

３　講　座

名　　称	内　　容	開　催　日	受講者数
道風記念館臨書講座 「伝藤原行成筆重之集をかく」	伝藤原行成筆重之集を題材とした臨書実技講座。 講師　馬場紀行	５/８(木)・22(木)・29(木)・６/５(木) 午後（４回×１）	人 ２３
道風記念館講座 「写本・版本・古筆切～日本文学を伝えた書物～」	古筆切や写本、江戸時代の版本について、幅広い日本の書物についての講座。 講師　日比野浩信	５/31(土)・６/８(日)・14(土)・22(日)・28(土)・７/６(日) 午後（６回×１）	２８
ワークショップ 「道風くんにチャレンジ！」	小野道風の故事に因んで、家族で団扇に字を書いた。 講師　橋倉詠雪・中野華邱	７/21(月・祝) 午前・午後(１回×２)	４８
ワークショップ 「はじめてのふで」	初めて筆に触れる子どもが書の基本を学んだ。 講師　橋倉詠雪	７/23(水)・25(金)・27(日) 午前・午後(１回×６)	５６
ワークショップ 「筆ってこうつかうんだ！」 ２・３年クラス	小学生が書の基本を学んだ。 講師　橋詰桃邨	８/２(土)・６(水) 午前・午後(１回×４)	５５
ワークショップ 「筆ってこうつかうんだ！」 ４～６年クラス	小学生が書の基本を学んだ。 講師　原田凍谷	８/５(火) 午前・午後（１回×２）	２９

ワークショップ 「こどもガイドツアー」	小学校３年から中学生までを対象とした展示品解説を行った。 講師　道風記念館学芸員	８/９(土) 午前・午後（１回×２）	4
道風記念館講座 「古筆で和歌を読む」	さまざまな歌集に収録されている和歌を、古筆から読み解き鑑賞する講座。 講師　日比野浩信	２/５(木)・12(木)・19(木)・26(木)・ ３/５(木)・12(木) 午後（６回×１）	３０

4　第 44 回道風の書臨書作品展

・応募点数　一般の部　屏風土代　224 点
　　継色紙　341 点
　　高校生の部　屏風土代　2,243 点
　　秋萩帖　286 点
・審 査 員　古谷稔・福田哲之・四辻秀紀
・審 査 日　11 月 16 日（日）
・表 彰 式　１月 17 日（土）
・展 覧 会　１月 17 日（土）～２月１日（日）
・観 覧 者　428 人

5　道風記念館だよりの発行

・小野道風に関する研究発表や、小野道風に関する資料の紹介などを行った。
　第 75～78 号（年４回）

6　その他

・小野道風関係資料及び書作品の収集・整理

議題２　令和９年度事業案

１　道風記念館運営協議会

道風記念館の運営について審議していただく。年２回開催。

２　展　示

(1)　館蔵品展

館蔵品の中からテーマを設定して展示する。年３回開催。

(2)　企画展

「おののとうふう」　子ども向けにわかりやすく小野道風の書を紹介する。

(3)　特別展

展覧会名　「近衞信尹の書」（仮称）

展示概要　寛永の三筆のひとりである近衞信尹の書を紹介する。近衞家の文書類を管理している陽明文庫と東京国立博物館から、信尹の代表作や消息（手紙）などの資料を借用予定。

講演会　日時　未定

演題　未定

講師　名和修氏（陽明文庫文庫長）

前田多美子氏

（元古筆学研究所主任研究員、元センチュリー文化財団主任研究員）

(4)　その他の展示

第 92 回県下児童生徒席上揮毫大会作品展

３　講　座

- 道風記念館講座　書に関する内容の６回講座。
- 臨書講座、古筆の臨書実技　４回講座
- 子ども向けワークショップ　企画展「おののとうふう」の会期中に開催する。14 回程度開催。

４　第 46 回道風の書臨書作品展

小野道風筆を中心とした古筆の臨書作品を募集し、入賞作品を展示する。

５　道風記念館だよりの発行

小野道風を中心に、書に関する研究発表や、資料の紹介などを行う。年２回発行。

６　その他

小野道風関係資料及び書作品の収集・整理

議題３　令和 11 年度特別展について

展覧会名　「武者小路実篤の書」（仮称）

概要　　武者小路実篤は作家として著名だが、壮年より書画を能くし、生涯に約２万点もの作品を残した。その独特な作風は現在においても愛好者が多い。

武者小路実篤記念館の所蔵品を中心に、実篤の書、実篤が収集した書や遺愛の文房具などを展示する。